

令和6年度とっとりSDGs 企業認証 認証事業者アンケートの集計結果

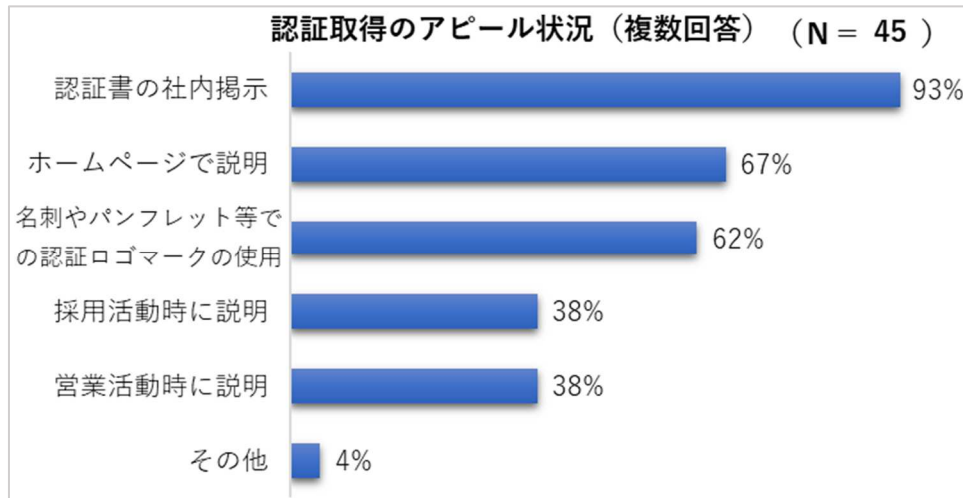
令和7年2月 商工政策課

- すべての事業者が、ホームページや名刺などを活用して「認証取得」を外部にアピール。
- 約4割の事業者が、社員の採用や取引等の営業活動の際に、「認証取得」をアピール材料として活用。
- 認証取得の効果として、「企業イメージの向上」(80%)、「SDGs 経営の理解」(60%)を挙げた事業者が多く、「社内の体制、制度、設備などの改革」(33%)、「従業員のモチベーションアップ」(24%)、「事業の見直しや新規事業の創出」(20%)、「取引先の維持・拡大」(20%)、「人材確保」(20%)などの回答もあった。

調査期間:令和7年2月4日~20日 調査対象:「とっとりSDGs 企業認証」認証事業者(52事業者) 回答:45事業者 回答率:87%

○すべての事業者が「認証取得」を外部にアピール、約4割が採用・営業活動時にもアピール材料として活用

すべての事業者から、認証企業であることを情報発信に活用しているとの回答があった。回答が多かった項目は、「認証書の社内掲示」(93%)、「ホームページで説明」(67%)、「名刺やパンフレット等での認証ロゴマークの使用」(62%)であった。また、「営業活動時に説明」(38%)、「採用活動時に説明」(38%)など、約4割が採用・営業活動時にもアピール材料として活用されている。

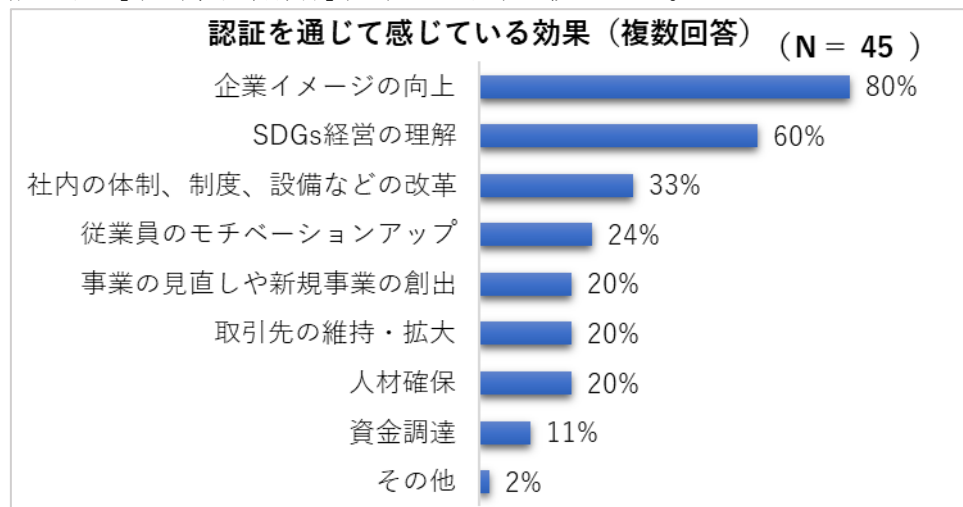


【主なコメント(自由記述からの抜粋)】

- 認証書を社内のパブリックエリアに掲示したことで、SDGs に貢献していることを従業員が認識できており、お客様に説明する際のエビデンスとしても非常に役立っている。
- 営業先や取引先に認証取得のことを説明し、信用を高めることにつながっている。
- 社会への貢献度合いを企業に求める学生が増えており、SDGs も就職するうえで一つの判断材料になっている。

○認証を通じて感じている効果の最多は「企業イメージの向上」(80%)、次いで「SDGs 経営の理解」(60%)など

認証取得による効果として多かった回答は、「企業イメージの向上」(80%)、「SDGs 経営の理解」(60%)であった。その他、「社内の体制、制度、設備などの改革」(33%)、「従業員のモチベーションアップ」(24%)、「事業の見直しや新規事業の創出」(20%)、「取引先の維持・拡大」(20%)、「人材確保」(20%)などの回答が続いている。



【主なコメント(自由記述からの抜粋)】

- (認証取得後)外部からの取材が増え、会社の PR につながった。
- 「何ができるのか」「どのような取組みが不足しているのか」を見える化したことで、具体的に何を行うべきかが明確になった。認証取得後も、効果的かつ社会的に意義のある活動ができていていると感じている。
- (会社の)中期経営計画(3 年計画)の中に、「SDGs への取り組み」を盛り込み、各部署から選抜した人員で構成する SDGs 委員会により、SDGs の項目の検討・実践を行っている。
- SDGs にも貢献する自社開発技術に関して、高い関心や良い評価をいただいている。

○参考:その他のコメント(自由記述からの抜粋)

【企業イメージ・顧客等の反応】

- 認証を取得したことにより、外部からの安心感や信頼感が増したように感じている。
- 鳥取県のホームページに(自社の)企業名が掲載されるので、取組みのイメージがお客様にも伝わる。
- 認証取得やSDGsに配慮した経営活動を評価されて、購買や取引につながるがあった。
- ホームページや名刺、自社製品のカタログ等に認証ロゴマークを使用したことで、営業活動時の顧客との信頼関係づくりのきっかけとなっている。
- 活動を進めていく中で、地域の方、自治体、企業、地元商店さんなどから協力をいただくことができた。
- 定期的に、学校から課外授業への協力のお声がけをいただいて参加している。
- 日常の事業活動の中では、認証企業であることが話題となることなく、対外的な効果は実感としてはない。

【SDGs 経営の推進】

- 取組前は漠然としか(SDGsを)理解できていなかったが、(SDGsの)多数の項目が目標の再認識につながり、非常に勉強になった。
- 認証取得前は意識していなかったようなことも、定期的に進捗状況を意識するようになった。
- KPIがはっきりしていることで進捗や達成度合いが可視化できている。検討事項等にも優先順位がつけやすく、判断のスピードが上がっていく。
- 申請内容の目標達成に向けた取組みは、全てとは言えないものの、動機付けとして機能していると感じている。

【社内の体制・制度などの改革】

- 目標として社外にも掲げたことで、社内の体制整備がより推進がしやすい。
- 認証取得により、今まで整備できていなかった制度や体制を認識する契機となった。
- SDGsの目標達成には、積極的な取組みが不可欠であり、事業の継続性を確保するため、BCPの策定につなげた。

【従業員の意識改革】

- お客様や取引先からの信頼を獲得することができ、ブランド価値がより高まったほか、社会貢献へとつなげていくことで、社員のモチベーションアップにもなっている。
- 清掃ボランティアのイベントに参加する社員が増えた。
- 社員全員でサステナビリティ検定を受験して、社内への浸透を図っている。
- (SDGsの取組方針に盛り込んでいることで)通常業務では向かっていくことができないことにも挑戦できる雰囲気が出た。

【採用面への影響】

- 採用場面では、(求職者が)企業のSDGsへの取組に興味関心があることが伺える。
- 採用活動時には、環境問題に関心のある学生に(自社に)関心を持ってもらえる。
- 認証取得により、採用活動や宣伝する際などにも大変有効。

【資金調達】

- SDGs 私募債もあり、金利が優遇される。
- 制度融資を利用して、低利による資金調達につながった。